

—“ふるさとちば”のための政策推進を◆

近野 韶 よしかつ えのさわ吉原競馬リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

袖ヶ浦の森地工業団地 2期・3期が大きく進展

江野澤 県議

立地環境

地元市と共に整備へ

江野澤議員　袖ヶ浦椎の森工業団地の第1期事業は、平成17年度に完成し、20年度には完売し、10社がすでに操業しています。しかし、2期・3期区域については、今後の立地動向を踏まえて、臨海コンビナートに隣接する袖ヶ浦椎の森を早急に整備することが、現在の厳しい経済、雇用情勢から脱却し、活力ある千葉県を復活させるための大きな起爆剤になるものと考えます。

企業庁が所有する袖ヶ浦椎の森2期・3期の用地について、早急に工業団地の

質問では、江野澤県議が袖ヶ浦椎の森工業団地の2期・3期事業区域の整備促進を求めたのに対し、県は、地元市と共同して整備していくとの新たな方針を明らかにしました。その他、江野澤県議の主な質疑を1、2面で特集しました。

度ほど国体に出場した経験があることを披露し、千葉国体の成功を念願してらるべと述べました。

袖ヶ浦市特集



6月憲議会本会議で壇上から質問する江野澤吉克憲議

整備を進めるべきとするが、いかがですか。

めていくという答弁をいたしましたが、袖ヶ浦椎の森二期・三期は熟度の高い工業団地であり、袖ヶ浦市の期

高齢者向け賃貸住宅

待も大きいので、地元と十分に協議を行って、ぜひとも早期に完成させていただきたい。

江野澤真議 高齢者向け
賃貸住宅について、昨年
高齢者の居住の安定確保
に関する法律が改正され
たが、その主な内容は何か。
また、県では法改正を受
け、高齢者向けの賃貸住宅
の確保について、どのように
取り組んでいくのか。

策と福祉政策が一体となつた、高齢者の住まいの安心確保のための取り組みを進めるため、国土交通省が単独で所管していた「高齢者の居住の安定確保に関する

の料金引き下げなどにより立地環境の優位性が高まっていることから、現在2期・3期事業の採算性などを検討を重ねてきたところであり、今後は事業手法などより具体的な内容について協議を進めてまいります。今後は、より具体的な内容についてご要望

この法改正により(1)都道府県は高齢者に対する賃貸住宅及び老人ホームの供給の目標や、高齢者居住生活支援体制の確保に関する事業などを内容とした「高齢者居住安定確保計画」を定めることができるとされました。(2)また、ケアつきの高齢者向け優良賃貸住宅の整備に対する支援の拡充や、

6月県議会で元市町村と共同して地元市町村を活用し、策と福祉政策が一体となつた、高齢者の住まいの安心確保のための取り組みを進めるため、国土交通省が単独で所管していた「高齢者の居住の安定確保に関する法律」を厚生労働省と共に管する法律に改めました。

この研究内容を踏まえた
がら、「高齢者居住安定確保
計画」の策定に向け、住宅
部局と福祉部局を緊密に連
携させ取り組んでまいり
ます。

の料金引き下げなどにより、立地環境の優位性が高まっていることから、現在2期・3期事業の採算性などについて、地元袖ヶ浦市等と検討を重ねてきたところであります。今後は事業手法など、より具体的な内容について協議を進めてまいります。

要望 今後は、より具体的な内容について進

この法改正により(1)都府県は高齢者に対する賃貸住宅及び老人ホームの供給の目標や、高齢者居住生活支援体制の確保に関する事業などを内容とした「高齢者居住安定確保計画」を定めることができるとのされました。(2)また、ケアつきの高齢者向け優良賃貸住宅の整備に対する支援の拡充や、

この法改正により(1)都府県は高齢者に対する賃貸住宅は少ないのが実情ですので、法改正を受けて今後さらに充実していくことを期待します。

また、高齢者の住宅について、法改正が施行された中で、県としてどうしたことができるのか、いろいろ協議を重ねて今後の課題として取り組んでもらいたい。

